

国際交流事業

企画部 内田 義裕

「大書道」との名の下国際交流事業を11月に行ったが、参加希望（期待）と現実の参加者との差が余りにも大きかったが、無事に終了出来たのは良かったと思います。

個人的には、玄游会の矢田会長の所への飛び込み営業も多少の不安も有ったが、我々の主旨を快諾下さり、又、引き継ぎの藤本先生以下あれだけのスタッフを配置され、皆内心もう少し何か出来たのではないかとは思われたと推測されますし、交流の方法も少し課題の残る場面（留学生との会話の方法）が見受けられましたが、それでも最後の別れ際に女性同士では有ったが“グ”をされていたのは少し感動を誘うシーンではなかったかと思い起きました。藤本先生と改めて話（メール）をして又次回企画があがつたら是非御賛同下さいと御願いをしてみたら快諾されました。その次回こそ発展させて大成功と言えるような事業に出来ればとの期待をしてみたいと思います。拙くとも英会話をしてみる勇気や体を使って表現する書道（逆筆なる技）もなかなか体験出来る事ではないので私個人は充実した事業ではなかったかと思います。



WK Wakakei2016

<http://www.wakakei.com/>

若き経営者の会 ニュース会報

発行所
若き経営者の会
総務部
発行責任者
篠田 義仁
事務局：宇都市鵜の島町7-31
株式会社建築設計事務所
☎ 32-3450
FAX 34-2016

4月定時総会・懇親会を終えて

総務部 田中 裕一郎

平成28年4月15日 国際ホテルにて平成28年度4月定時総会・懇親会が行われました。総務部として失敗の許されない事業であるため、次第の作成、レクリエーションの考案、会場の下見、当日に向けて準備を進め、当日を迎えるだけと思っていた矢先、4月14日熊本地方を震央とする熊本地震が発生しました。自粛ムードも漂う中、御参加、頂きました御来賓、OB会の方々にはこの場を借りて感謝申し上げます。

当日、予定していたレクリエーション等の自粛、次第の変更等、内容の変更はありました、滞りなく閉会まで進行する事が出来ました。前文、滞りなくと申しましたが、私が担当しました年間行事のスライドショーでBGMが切れずに流れ続けるというミスを犯してしまい大変失礼な事をしてしまいました。失敗があつてはならない事業なだけに、ミスが悔やまれます。それまで上手く行っていた事が一つのミスで台無しになる事を思い知りました。

次年度は、上記の様な事が起きない様、自戒の念を込めて事業への取り組みを進めていこうと思います。



12月定時総会

総務部 藤村 貴志

総務部では、12月8日（木）に文化会館で12月定時総会が行われました。

篠田会長の身の引き締まる挨拶で始まりセレモニーが無事終わった所で、今年の新しい試みとして総会と同じ日に部員選抜会議を行い、その間に残った会員で3分間スピーチを行いました。次年度の役員達は別室に移動してメンバーのドラフトで盛り上がり、他の会員達は、新入会員3名を含めた5名の3分間スピーチに耳を傾けていました。ここまで完璧な進行でしたが、思いのほかドラフトが早く終わりスピーチをする最中に皆がゾロゾロと会場に戻ってしまい、場を乱すような事てしまいました。

部会での打ち合わせ、シュミレーション等が十分出来てませんでしたね。

本谷君、本当にすいませんでした。

まだまだ学ぶ事が多いなと思わせてくれた1日でした。



年間例会 1泊研修

教育部 猪熊 修太郎

28年度教育部では今年度を『防災』というひとつのテーマで例会・一泊研修を行いました。

5月例会では、宇都市防災危機管理課の松本敏哉氏を講師に「災害に備えて」と称し近年実際に宇都市やその近郊で起こった災害などについてご講演して頂き、災害は人事ではなく身近にあるということを再認識できました。

6月例会では、(一社)日本経営危機管理協会の認定講師 野間由美子氏を講師にお招きして、「リスク管理は最強の攻撃」と称し自然災害と経営リスクを含むゲーム方式でのご講演をして頂きました。

7月例会では、門司海上保安部宇都海上保安署の地域防災対策官 小楠幸康氏と他2名の方を講師に「海浜事故・地震災害に備える」と称し実際におこった事案やもしもの時の対処方法、日頃の活動等についてご講演して頂き、その



後、怪我などをされた方の運搬方法などを実際に体験しました。

9月例会では、学校法人山口精華学園理事長の岡村精二氏を講師に「備えあれば憂いなし（東日本大震災からの教訓）」と称しご講演して頂き、行政とは違ったボランティアの目から見た被災地の状況について知ることが出来、まずは行動することや人との繋がりの大切さ、まずは自助が会つての共助があることを再確認できました。



10月例会では、山口県知事の村岡嗣政氏を講師に「活力みなぎる山口県の実現に向けて」と称し山口県のインバウンドへの取り組みや熊本地震での支援活動や出てきた問題点とそれを踏まえた防災対策などについてご講演して頂きました。

11月の一泊研修では、午前中に大宰府天満宮の歴史などをガイドさんに解説してもらいながら見学しました。そして、午後から福岡市民防災センターで火災についてのご講演と実際に各種防災体験をしました。

2月例会では、この一年の集大成として宇部消防署の方を講師に普通救命講習を受講し終了証を交付して頂きました。

最後に今年度教育部の取り組みを通じて、会員の皆様方の防災についての意識が少しでも向上したのであれば幸いです。ご協力ありがとうございました。



家族会

文化部 安本 誠一

今年度文化部では、「本気で楽しく」をスローガンに掲げ、会員家族の交流をより深めることができるように、事業を練り上げ実施致しました。

まず初めに、6月26日にアジススパホテルにてパーティー形式の事業を行いました。これまで年度の終盤に行なうことが多かった事業ですが、新入会員の紹介や今年一年の始まりの懇親を深める意味で6月の早い時期に行いました。大人も子どもも楽しめるよう、子どもたちにはスーパー・ボールすくい、奥様方には景品を輪投げで獲得してもらうアトラクションなどを行いました。

そして10月23日には、ときわ公園にて第二回目の家族会を行いました。内容としては、園内の彫刻や歴史に関する問題を解き、隠された宝箱を探し出すというものでした。その際参加者については、なるべく他の会員家族と同じグループになるよう分かれてもらい、当日終了まで一緒に過ごしてもらいました。文化部としては年度の早い段階から、どうすれば交流を深めることができるかを考えました。内容の仕掛けや謎解き問題、また地図の作成など小道具の準備はもちろん、現地調査には何度も足を運び、頭と体を動かしてたくさん汗をかいて準備をしていきました。その結果たくさんの方々に楽しんでもらえたと思いますし、よりよい交流が図れたのではないかと感じております。

文化部担当例会

文化部 安本 誠一

1月12日文化会館にて、文化部担当例会を行いました。

講師には当会OBである上條昭夫先生にお越しいただき、演題に「経営者として押さえておくべき労務のポイント各論その1 36協定の遵守と長時間労働～動き始めた「かとく（過重労働撲滅特別対策班）」～」と称し、36協定と長時間労働について実例を交えた講演をしていただきました。

大企業で過重労働問題などが発生しメディアでも取り上げられる中、国としても「働き方改革実現会議」を9月より開始するなど、今後長時間労働については大小規模を問わず企業にとっては解決すべき大きな問題になる



と思いました。また時代の変化により働く側の感覚も変化していると思います。正直なところ、過去自企業でも労務トラブルが発生し、何年間にもわたり苦しんだ経験がありました。そのような無用なトラブルに巻き込まれてほしくない、そんな思いでこの内容を選びました。



奥様研修

文化部 安本 誠一

2月4日男女共同参画センター・フォーユーにて奥様研修を行いました。

今年は整体ヨガを体験していただきました。いつも会へ対してのご理解と会員のサポートをしていただいている奥様方に、女性としての教養を更に深めて

いただくことを目的にこのような内容にしました。研修は簡単なウォーミングアップから始まり、普段使わない体の部分を伸ばしてほぐし、気持ち良い汗をかいていただいたと思います。美と健康を更に磨かれたのではと思います。その後懇親会を開き、お酒を交えつつ交流を深めていただきました。



貢献事業

企画部 春日 智貴



企画部では平成28年7月3日に貢献事業と致しましてキワラビーチにて浜辺の清掃活動を行いました。

各班にわかつて浜辺の清掃、台風による倒木の撤去作業、駐車場の区画割を行いました。

当日は作業中はとても暑く雲ひとつ無い様な日差しの中、子供達も汗だくになりながら浜辺の清掃を手伝ってくれました。ごみの量も多く大変な作業でしたが無事終える事ができました。

倒木撤去作業は伐採、撤去、搬出作業をしましたが保護具を付けての作業はとても大変そうでした。

駐車場の区画整備はロープを使っての車の駐車区画を作りました。とても素晴らしい出来栄えでした。

事業終了後のBBQではそうめん流しもして子供達も大喜びでした。

海水浴に来られた方が安心して怪我が無い様に楽しく遊べるのに少しは貢献出来たのではないかと思います。地域の自治会長さんからも感謝のお言葉を頂きました。

会員の皆様のご協力のおかげで無事に事業を終える事が出来ました。
ありがとうございました。



ふるさと土曜夏まつりに参加して

企画部 赤坂 潤

私達若経会員は、平成28年8月6日楠総合センター駐車場にて行われた「ふるさと土曜夏まつり」にお手伝いとして参加致しました。当日は若い家族連れからお年寄りのご夫婦まで多くの地元の方々が参加されており、賑やかな雰囲気の中お祭りを楽しんでおられたと感じました。また、幼稚園・保育園の絵の展示や子供が楽しめるボールすくいや射的、山口市のアイドル「カラフレ」が昭和の曲を歌うなど参加者全員に楽しんで頂きました。

その中で、私達はお祭りの花“屋台”的一角としてご存知「若経やきそば」を引っ提げ参加致しました。私もコテを握り鉄板の前に立って調理していましたが、多くのお客様に召し上がって頂くことができました。鉄板の熱+昨今の夏の暑さ+お客様の熱気で正直がつり疲れましたが、調理しながら作業の効率化を考えたり周りの状況を把握しつつ調理したりと、現場でも必要な経験をすることができたのは良かったと思います。また、他の屋台スペースでも強力な助っ人としてお手伝いでき、手前味噌ながら地元の方々には楽しんで頂けたのではないかとおもいます。